

1 岡山市斎場整備計画について

岡山市斎場整備計画は東山 14 炉、岡山北斎場 12 炉、瀬戸内市火葬場 2 炉の計 28 炉が必要としています。瀬戸内市火葬場は、瀬戸内市分 2 炉、岡山市分 2 炉の計 4 炉の計画です。

問 1 H27 年度の瀬戸内市民の岡山市斎場での火葬数 333 は、将来の瀬戸内市火葬場構想では岡山市分の 2 炉に含まれていますか。

問 2 現在は灘崎町分の火葬は主にどこで火葬されていますか。

問 3 将来も灘崎分の死亡者は岡山市の斎場には含まれないと想定していますか。

問 4 現在は玉野市斎場で火葬している灘崎市の人が、将来は岡山市の斎場に代わらないとする理由は何ですか。

問 5 瀬戸内市民の火葬数を将来の岡山市の火葬数から差し引くと、岡山市斎場整備計画には大きな違いが発生します。見直す必要があると考えますが、いかがですか。

問 6 7月に行った瀬戸内市との協議はどのようなことが話されましたか。また、何が決まりましたか。

2 富吉新斎場の石綿含有廃棄物埋め立てについて

6月議会で質問した富吉新斎場用地の産廃処分場跡地の石綿含有廃棄物埋め立て状況について資料の開示を求めました。

毎年の埋め立て量及び石綿含有廃棄物がどこに埋め立てられたのかを示す写真等の資料です。しかし、市の回答はいずれも「作成しておらず、該当文書不存在のため開示できない」とのことです。

問1 埋め立てについて、廃掃法では業者は、「帳簿を1年ごと閉鎖し5年間保管しなければならない」はずです。そして、市に報告する必要があるのでしょうか。

問2 購入した土地の状況把握は、将来の利用のために必要だと思いますが、岡山市は土地購入にあたり、地下埋設物についての詳細な情報を把握していましたか

問3 最終処分場跡地形質変更にかかる施行ガイドラインを、岡山市は土地取得時には把握していましたか。

3 事業系ごみ搬入量確認について

5月の連休以降、事業系ごみの持ち込みの2度量りが実施されました。

以前から問題にしているA社の今年6月と2年前の6月の持ち込み量を比較しました。

H27年6月に比べてH29年6月の搬入量は、総量で9.4%増です。台数が減ったこともあり、1台あたり搬入量は2.4倍になっています。

各搬入車両の登録自重を比べると、最大では140kgも差があります。この差について質問します。

問1 搬入車両の登録自重の差は、燃料や運転手の体重によるものですか。

問2 故意に搬入量を少なくし、岡山市への処理手数料をごまかしていたのではありませんか。

4 大規模太陽光発電の適正設置について

再生可能エネルギーの普及は大いにしなければならないと思っています。しかし、メガソーラー建設によって損なわれるさまざまな被害についての検証に耐えられる計画であることが求められます。

北区の足守、大井、栗井にかけて186haに27万枚の太陽光発電パネルを敷き詰める計画が浮上しています。甲子園球場の50倍以上の広さです。

問1 山林を切り開きパネルを敷き詰めると流出係数はどのように変化しますか。

問2 日近川や足守川にかけて洪水時の流量は増大します。それぞれの川の溢水の記録はありますか。

問3 計画地下流には多くの土砂災害警戒区域が存在します。(ハザードマップ参照) すぐ上流の大規模開発は、下流の住宅地等への甚大な影響を与えるではありませんか。

問4 広範囲の山の斜面が太陽光パネルで覆われることとなりますが、景観に与える影響は大きいと考えられます。「ほたるの里」もこの地域にあります。この地域に規制を受ける地域指定はありますか。

問5 地元町内会等から反対の要望書が市長あてに提出されています。住民の不安に対し、岡山市はどのような対応をしますか。

問6 ゴルフ場建設に匹敵する規模の土地開発であり、環境に多大な影響を与える開発なので、環境影響調査を行うことを求めるべきではありませんか。

問7 大規模太陽光発電の適正設置について、他県や他都市では適正導入ガイドラインを策定し規制をしています。

岡山市もガイドラインを定め、適正な設置をするようにしませんか。